

広報費経費内訳書

広報費の内容 777活動報告

項目	金額	備考
印刷製本費	294,000 /	作成部数 80,000枚 /
郵送料		
会場借上料		
押込料	265,293 /	80,000枚の内、78,800枚 /
合計	559,293 /	

広報費経費内訳書

広報費の内容 \_\_\_\_\_

項目	金額	備考
印刷製本費		作成部数
郵送料		
会場借上料		
合計		

※ 作成した資料を1部添付すること。

※ 領収書を裏面に添付すること。

会派代表者印	経理責任者印
●	●

# 甲府市議会新政クラブ活動報告



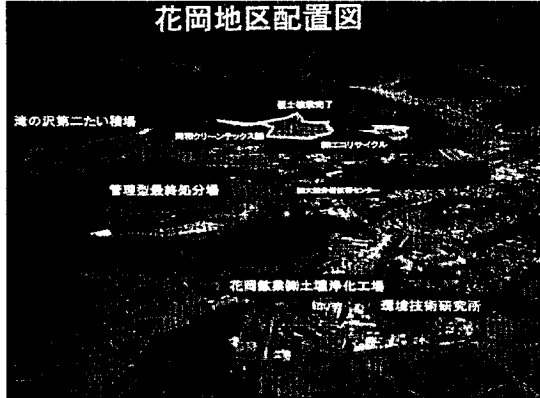
甲府市議会 新政クラブ  
会長 依田 敏夫  
甲府市丸の内1-18-1 甲府市役所内  
電話 055-237-1161 郵

## 2009年10月~2010年3月

### 視察報告

平成21年11月11日

### 秋田県大館市 株式会社エコリサイクル 資源リサイクルについて

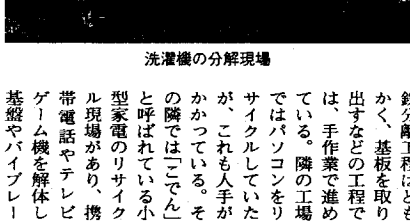


花岡地区配置図

がリサイクル事業と深く関係し、家電リサイクル法に基づき、家電リサイクル事業の基礎が出来上がってきたことなどから現在の事業展開に結びついたという説明であった。特にここで回収再生している物は家電リサイクル法(テレビ・エアコン・洗濯機・冷蔵庫の4品目が該当)によるBグループ(日立三洋ソニーシャープなど)の全国14施設存在するなかで、北東北地区中核リサイクル施設として稼働している工場である。

そもそも同和鉱業という社名であった同社が平成18年に持ち株会社制を導入し「DOWAホールディングス」と5つの事業会社を中心とした新組織へと移行し、その内使用済み家電製品などの再生処理を行う資源リサイクル分野の1社である株式会社エコリサイクルが今回の視察の中心である。あとで気がついたのだが、実際はこの会社だけで事業が完結しているのではなく、小坂製錬など周囲に点在するグループ企業がそれぞれ持ち味を生かしながら、さまざまな資源をリサイクルしていると言った。それら関係先を系統立てて視察すべきだったと悔やんだのだが、担当者の説明はその垣根を越え

て親切に且つ詳しく行われたので、非常に意義ある視察となった。この秋田鉱山は、黒鉱と山があった場所で、(黒鉱と鉛は閃鉛鉛鉱や方鉛鉱、亜鉛や銅などのほか金、銀などの貴金属も採取していた。またこの鉱山は日本の金属鉱山としては珍しく、大規模な露天掘りが行なわれていた場所だと言った。



洗濯機の分解現場

1990年代半ばに採算性の問題から鉱山としての事業を終了したのだが、その採鉱後地が深さ10メートルにも及ぶ粘土質である事から疎水性が高く、自然の適として最終処分地に非常な適していた事。鉱山で培われた製錬技術

処理能力としては1日900~1,000台ほどで、その工程は冷蔵庫ではまずフロンガスの回収無害化処理に始まり、断熱材の熱分解処理、鉄、非鉄の分離、鉄回収と流れ行く。驚く事は、フロンガスはコンプレッサ中にはおよそ150グラムなのだが、断熱材には1

台あたり4500、500グラムが含まれているという事である。これらは安全分解温度である850度以上で分解され、無害化されているのだが、そこまで行くには「手作業」が中心になっているのだ。ここでその分解に対してそのノウハウは製造するメーカーに対してモーターパック



ブラウン管の分解現場

「再生しやすいため」の設計に役立っているという。この様な地道な努力があつてはじめて我々の手に元になる事は、忘れてはならない現実なのだ。

ブラウン管式テレビでは、そのガラスの品質の違いからパネルガラスはガラスウール素材へと変わり、フロンネルガラスは製錬副資材へと使われ行く。しかしその分離工程などでも熱を加えながらやはり手作業である。洗濯機についても同様で、鉄、非

鉄分離工程はともかく、基板を取り出すなどの工程では、手作業が進められている。隣の工場ではパソコンをリサイクルしていたサイクルしていたが、これらも手が届いていない。その隣では「こでん」と呼ばれている小型家電のリサイクル現場があり、携帯電話やテレビゲーム機を解体し、基板やマイブレ



回収された「こでん」

第である。使用済み携帯電話1tからは200グラムほどの金が回収できるそうだが、これはわが国最高品質の金鉱山の10倍に相当する量である。それだけではなく、DOWAエコシステムにあっては現在再生資源の中から17種類もの元素を回収しているという。金・銀・プラチナに止



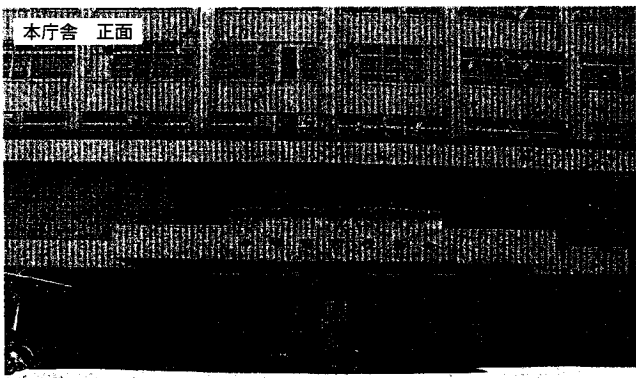
パソコンの分解

現代の日本は希少金属の宝庫と言われている。しかしこれは国内にあっては、手作業で進められている。隣の工場ではパソコンをリサイクルしていたサイクルしていたが、これらも手が届いていない。その隣では「こでん」と呼ばれている小型家電のリサイクル現場があり、携帯電話やテレビゲーム機を解体し、基板やマイブレ

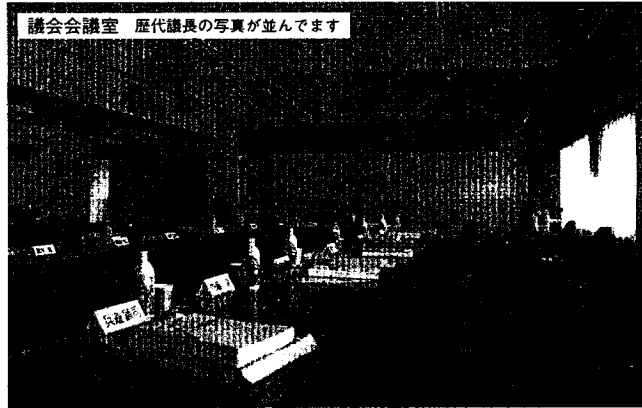
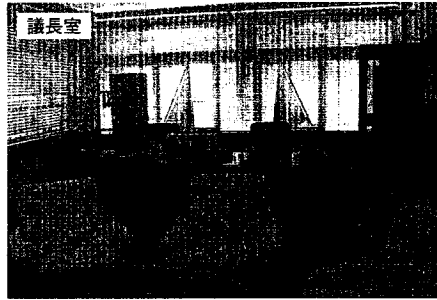
「こだけ見れば人件費の安い中国などでの海軍戦術が効果的ともいえるであろうが、其処で分離される「レアメタル」は中国製になってしまっただ。これではいつまでたっても我が国は資源小国で進むしかなく、外資によって買収求められた希少資源をひたすら消費し続ける経済小国としてしか生きる道はない。

グループによるNPO法人RtoSの事業バックアップとしてスタートしたもので、スーパーや官公庁の入り口などに回収ボックスを設置し、小型の電子機器を回収し、レアメタル等の回収実験を行うとしている。この効果として回収した機器の部品・量・製造年代などのデータ収集によりレアメタル等回収システムの構築に役立てる事とし、同時にこれら金属が環境に与える影響を軽減する事につなげる実験として全国に先駆け秋田県を進めているのである。

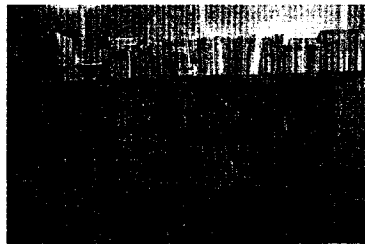
これによって従来は一般廃棄物として捨てられていたレアメタルが、再生されるといふ経済的・環境的效果と、不適切に処分された結果が招くレアメタルによる環境汚染の影響の軽減が想定されている。わが甲府市では再生処理業者こそ存在しないのだが、山梨大学工学部など共同でこの様な社会実験に取り組む事で、環境首都としてのアドバランも大い上がるのではなかいかと感じた。



甲府市議会3月定例会議は3月1日に開会し、総額704億9600万円の10年度一般会計当初予算案や総額8億3400万円の09年度一般会計補正予算案など、54案件と報告事項1件を提出、及び意見書2件を受け付けて23日に閉会いたしました。これでこの議場での議会開催は終了し、平成25年本庁舎が完成するまでは、甲府商工会議所の会議室が本会議場となります。45年の長きに渡りお疲れ様でした。



# 『ありがとう本庁舎』



## 平成二十一年度定例会質問者及び内容

### 十二月定例会

#### 代表質問

野中 一二

- 1 国の事業仕分けが本市に及ぼす影響について
- 2 新政府による本市の交付税配分状況について
- 3 教育委員会のあり方について

#### 一般質問

駒木 明

- 1 一般廃棄物の最終処分場について
- 2 新庁舎建設について
- 3 理科教育への取り組みについて
- 4 新型インフルエンザの感染力予防対策について

### 三月定例会

#### 代表質問

上田 英文

- 1 都市づくりの百年の大計について
- 2 4市で取り組んでいるごみ焼却施設の経過について
- 3 濁川改修問題について

※質問に対する答弁は、次の議会開始前までに甲府市のホームページ、議会へ全文が掲載されています。

#### 編集後記

いよいよ3月議会でこの議場ともお別れとなりました。市役所本庁舎も本当にお疲れ様でした。床と天井を見ると一層はつきりわかりますね。市役所も新たな旅立ちですが、私たちが新たな気持ちで取り組んでゆきます。

文責 野中一二

- 4 防災訓練のあり方について
- 5 まちづくりを語る会について
- 6 小学校の統廃合問題について

#### 一般質問

清水 仁

- 1 「わ」の都こうふプロジェクトIIについて
- 2 市立甲府病院の運営について
- 3 公職選挙の投票率向上について
- 4 教育現場の諸問題について
- 5 拉致問題に対する具体的施策について

#### 一般質問

裏石 修

- 1 災害時の備えについて
  - (1)民間の建物の耐震化について
  - (2)地域防災リーダーの育成について
  - (3)災害時の物資の備えについて
- 2 中学校の保護者負担軽減について
  - (1)制服関係の値段について
  - (2)修学旅行の値段について